

## 第10回政策調整会議結果報告

1 日 時 平成20年11月11日(火)午前9時00分～午後0時00分

2 場 所 役場2階審議室

3 出席者

《構成員》田浦副町長、服部総務課長、前田教育振興課長、北向建設水道課長、田中町民生活課長、伊藤産業振興課長、岡崎保健福祉課長

《説明員》松本技術審査担当課長、佐藤主査

《庶務》総務課企画財政班 石田主幹、新井主任

4 内 容

1 実施計画策定に伴う新規事業事前評価について

10 . 景観形成視点場整備事業

[担当から資料により説明]

・観光客の安全確保、周辺農家への農作業妨げ防止、地域活性化のため、視点場整備を要望する。

[協議内容(全体)]

・交通安全の確保、農業妨げ防止などの問題については、地域と協議(周辺住民との合意形成)を行っていくこと。

・八景についてどうしていくのかなど、産業振興課、観光協会などの関係機関との協議が必要。

・交通安全上及び営農上から考えると、最低限駐車帯整備の必要性は高いと考えるが、すべての視点場で同様の整備は、必要性に疑問がある。

[総括]

・現構想について、関係機関等との協議を深め、計画の見直しを図り、再度、会議にかけることとする。

・今回策定する実施計画への位置づけは見送ることとする。

・2次評価 必要性 B、緊急性 C、効率性 C、公平性 C、評価 C。

11 . 街区公園・緑地公園整備事業

[担当から資料により説明]

・各公園の遊具が老朽化しているため、計画的な更新を要望する。

[協議内容(全体)]

・協働の一環で今後の管理のあり方について、地域との連携(手伝い等)を検討すること。

- ・すべての公園について同じ整備をするのではなく、地域から必要な物の要望をとるなど、使用する住民にあわせた遊具整備の検討をすること。
- ・現在管理しているすべての公園で必要か検討すること。
- ・公民館分館に設置しているが、使われていない物(不必要な物)があるので、公園で再利用することができないか検討すること。

[総括]

- ・H21年度は、要求額250万円どおりではなく、必要最低限の遊具について整備する。
- ・H22年度以降については、会議での意見をふまえ、計画を作成後、再協議することとする。
- ・2次評価 必要性A、緊急性 A、効率性 B、公平性 B、評価 A。

## 12. 日の出公園整備事業

[担当から資料により説明]

- ・日の出公園は、観光の拠点となっているため、計画的な整備を要望する。

[協議内容(全体)]

- ・現状の指定管理者による委託が適切に行われているか検討すること。
- ・山頂への道路整備は、用地買収を行わない手法を検討すること。

[総括]

- ・ラベンダーの整備(捕植等)は、緊急の課題でもあることから、より効率的な計画を整理すること。
- ・再協議するため、評価を保留とする。

## 13. 島津公園整備事業

[担当から資料により説明]

- ・島津公園は、町民だけでなく、町外からの利用も多い公園であるが、現状の施設が老朽化してきているため、計画的な整備を要望する。

[協議内容(全体)]

- ・H26年度からの実施になっているが、H21年の防衛省の調整交付金対象となるようであれば、前倒しして実施することも検討すること。

[総括]

- ・今後の事業計画の具体化に向けて、計画の熟度を深めていくこと。
- ・調整交付金の対象が見込まれる場合は、必要な事業を前倒しすること。
- ・2次評価 必要性B、緊急性 C、効率性 B、公平性 B、評価 B。

## 14. 公園・コミュニティ広場トイレ水洗化工事

[担当から資料により説明]

- ・本公園は、子供たちに人気のある公園であるが、トイレが汲み取り式のため、住民会から早急な整備を要望されている。H21年度の新築工事を要望する。

[協議内容(全体)]

- ・水洗化(新築)にするか、撤去するか議論が必要(近距離に、社教センターがあり、地域の理解を得て設置しない方法も検討)。

[総括]

- ・H21年度は、実施しない。さらに議論する。
- ・2次評価 必要性C、緊急性 C、効率性 C、公平性 C、評価 C。

#### 15. 郊外道路舗装工事

[担当から資料により説明]

- ・郊外の未舗装道路で、これまで要望を受けている道路の簡易舗装を実施する。

[総括]

- ・計画的に整備を着手していく。H21は必要性の高い路線から実施していくこととするが、全体計画については、再協議する。
- ・2次評価 必要性B、緊急性 B、効率性 B、公平性 B、評価 B。

#### 16. 中富良野町地籍調査に伴う町界調整事業

[担当から資料により説明]

- ・中富良野町との町界を修正する。

[総括]

- ・H20年度からの継続事業であり、引き続き実施する。
- ・2次評価 必要性A、緊急性 A、効率性 A、公平性 A、評価 A。

#### 17. 町道改良舗装工事

[担当から資料により説明]

- ・市街地の町道で、路盤が入っていない簡易舗装道路を、防衛省の調整交付金をつかい改良舗装工事を行う事業であり、H22年度からの実施を要望する。

[協議内容(全体)]

- ・市街地全体の舗装状況を確認して、現在進めている簡易舗装事業とあわせた全体整備計画をたてる必要がある。

[総括]

- ・調整交付金の全体メニューの中で、前倒しが可能であれば、H21から実施する。
- ・2次評価 必要性A、緊急性 A、効率性 A、公平性 A、評価 A。

## 18 . 橋梁長寿命化修繕計画策定事業

[担当から資料により説明]

・町が管理する橋は115橋あり、平成25年度までに計画を策定しないと、架替や災害発生時に補助金を受けることができなくなる。H22年度からの実施を要望する。

[総括]

・事業費精査（委託業務と直営部分の明確化等）のうえ、計画どおりH22年度から実施する。

・2次評価 必要性A、緊急性 B、効率性 A、公平性 A、評価 A。